

農山漁村地域整備計画 事前評価調書

計画の概要	計画の名称	三重県桃取関連道整備計画
	計画策定主体	三重県
	対象市町村	鳥羽市
	計画の期間	平成25年度～平成26年度
	計画の目標	<p>答志島は、答志、和具（答志）、桃取、舟越の4漁港があり、鳥羽市の陸揚量全体の約80%を占める水産物供給基地であるが、一部について本土への陸揚げを余儀なくされているため、島内の各漁港における機能分担のもと、舟越漁港の背後に加工場を集約し答志島への陸揚げを増加させることとしている。</p> <p>しかしながら、舟越漁港から桃取地区へのルートは、現在、幅員が狭く急峻な山間部を経由している県道のみであるため、水産物・加工品の運搬時間は長く非効率な状態にある。</p> <p>このため、舟越漁港から桃取地区への漁港関連道を整備し、答志島における水産業の担い手確保と水産業の発展を図る。</p>
評価指標	○和具（答志）漁港から桃取地区までの移動時間の短縮 約22分 → 約15分	

	評価項目	評価細目	評価	説明欄
評価	1. 目標の妥当性	①関連する計画との整合性が図られているか。	○	舟越漁港における整備計画と整合がとれている。また、道路整備5カ年計画とも整合がとれている。
		②地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	関連道の整備により、海況条件に左右されない運搬と効率的な運搬が可能となるため、水産業の発展につながるものとする。
	2. 整備計画の効果・効率性	①整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	関連道の整備により効率的な運搬が可能となり、その指標として運搬時間の短縮が可能となる。
		②事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	交付対象事業完了時に評価が可能な指標となっている。
		③構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	関連道の整備による移動時間の短縮を指標としており、本指標を評価することは適切である。
	3. 整備計画の実現可能性	①円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	事業内容について、漁協及び地元関係者の理解が得られている。
		①地元の機運が醸成されているか。	○	地元から強い要望を受けている。